馬術・関東学生三大大会

総合馬術
植田・エンドーペロー号が優勝

馬場馬術
坂口・フィロソファー号が優勝

6月21日から24日まで、東京都のJRA馬事公苑で関東学生三大大会が行われ、総合馬術競技で植田俊輔（商4・倉敷鷲羽高）・エンドーペロー号が安定した騎乗で総減点数を抑えて優勝。馬場馬術競技では、坂口智康（経済4・八女工高）・フィロソファー号が専大では29年ぶりとなる優勝を果たした。

坂口は「29年ぶりの優勝と知って、うれしかった。専大の歴史に名を残せたということは個人的に大きな結果になったと思う」と語った。

また各選手が健闘し、団体でも三種目総合で3位に入賞した。各競技の団体の結果は次の通り。

▽障害飛越競技＝4位
▽馬場馬術競技＝3位
▽総合馬術競技＝3位

（大嶋　輝・文2＝写真も）

▲　安定した騎乗で優勝した植田とエンドーペロー号

卓球・関東学生選手権
44年ぶりアベック優勝
シングルス　男子が王、女子は劉

▲　他を寄せつけぬ強さで優勝した王（左）と劉

6月26日から28日まで、所沢市民体育館で行われた関東学生卓球選手権のシングルスでアベック優勝を果たした。男女同時の優勝は44年ぶり。

男子シングルスを制したのは王凱（商2・新潟産大附高）。途中、左足のアクシデントもあったが、決勝も4―1で勝利した。王は「次の全日本大学総合卓球選手権、秋季リーグ戦に向けて頑張りたい」と優勝の余韻に浸ることなく先を見据えていた。

女子シングルス優勝の劉莉莎（商2・日南学園高）は準々決勝・準決勝を4―1で勝ち進み、決勝も4―2で勝利。

劉は「優勝してとてもうれしい。これからあるすべての大会でも、一戦も負けないように頑張りたい」と意気込みを話した。

（橋本　里恵・文3）

バドミントン・関東学生選手権
女子シングルス　平井が準優勝

6月4日から24日まで、関東学生バドミントン選手権が所沢市民体育館ほかで行われた。Aブロック女子シングルスに出場した平井亜紀（商3・高松商高）が準優勝し、10月の全日本学生選手権（以下インカレ）の出場を決めた。

準々決勝、準決勝は2―1でフルセットまでもつれた試合を制し、決勝に進出。決勝は第1セットを奪うも、1―2で惜敗した。試合を振り返って「インカレ出場権を得ることが目標だった。粘り強く戦うことができ、自信がついた。昨年の東日本学生選手権も今回も2位だったので、優勝するにはもっと努力が必要だと思う。8月の東日本学生選手権に向けて練習に励みたい」と意気込みも語った。

▲　惜しくも準優勝となった平井

またAブロック女子ダブルスでは浦谷夏未（商2・尚志高）・篠田未来（文2・富岡高）組がベスト4だった。

（橋本＝写真も）

相撲・東日本学生選手権
健闘もベスト8

東日本学生相撲選手権が6月3日、両国国技館で開催された。専大は予選で拓大と日体大に連敗するも、法大に4―1で勝利。決勝トーナメント進出を決めたが、初戦で日大に0―5と完敗し、ベスト8となった。

蒲田重勝監督は「試合中にけがをした選手が多く出てしまったが、全日本選手権（金沢、十和田大会）の出場権が得られたのでよかった」と話し、次の大会に向け「一つでも上を目指す気持ちを持って戦ってほしい」と語った。（林　裕太・法2＝写真も）

▲　法大戦での中曽根聡（商2）

バレーボール・東日本選手権
ベスト8に進出

東日本大学バレーボール選手権が6月27日から7月1日まで、札幌市の北海きたえーるほかで行われた。専大は準々決勝まで進むも、慶大に敗れ、ベスト8で大会を終えた。

初戦で東北大を3―0で下すと、勢いそのままに強豪・日体大にもストレートで勝利しベスト8に進出。しかし準々決勝は3―1で敗れた。

日体大戦から準々決勝まで20分しかなく、選手の疲労もピークに達していた。吉岡達仁監督は「体力的な問題があった」とコメントしたが、「次回は勝つ自信がある」とも語り、既に秋のリーグ戦を見据えていた。

（村上　大晃・文2）

アーチェリー・全日本学生男子王座決定戦
善戦も8位に終わる

全日本学生アーチェリー男子王座決定戦が6月23、24の両日、静岡県のヤマハつま恋リゾートで行われた。専大は佐藤尚樹（経営2・田村高）、矢野雅貴（経営1・馬頭高）、中田翔（経営2・敬和学園高）、平沢大典（経営4・栄東高）の4人で挑み、トーナメント方式の決勝ラウンドを8位の結果で終えた。横山俊主将（文4・青森東高）は「みんなプレッシャーからか緊張して本来の実力を出し切れなかったのが残念」と話した。

関東学生・フィールド個人選手権
平沢が3位

関東学生アーチェリーフィールド個人選手権大会（6月15日～17日、横浜南フィールドアーチェリー場）で、平沢大典（経営4・栄東高）が336点で3位となった。

フィールドアーチェリーは、環境が変わるなかで標的を射つ難しさがあるが、平沢は「2年次からフィールドの大会に出場し、経験を積んできた。1週間前の全日本フィールド選手権ではよい成績を残せなかったが、強い人たちを見てよい刺激になった」と語った。

（葛西　千瑛・文2）

ヨット部創立45周年祝賀会開く

6月16日、生田キャンパスでヨット部創立45周年祝賀会が開催された。現役、卒業生合わせて34人が参加。OB会長の西澤洋介氏（昭47経済）や柄澤康善監督が祝福の言葉を述べ、50周年に向けて意気込みを語った。また、お互いの体験談などを語り、学生とOBの絆を深める会となった。

同部は1968（昭和43）年にヨット同好会として発足。1999（平成11）年に体育会ヨット部に昇格した。

（尾島　里美・文2＝写真も）

▲　現役、OBら34人が集まった

監督交代

◇準硬式野球部
海老原康彦氏（平19法）

夏期合宿日程

各部の夏期合宿日程と開催場所は次の通り（7月12日現在）。

◇アーチェリー部
8月13～17日（群馬県猿ヶ京）

◇アイスホッケー部
9月7～16日（北海道札幌市）

◇アメリカンフットボール部
8月10～15日（千葉県長生郡）

◇剣道部
8月11～18日（長野県上田市菅平）

◇柔道部
8月5～10日（長野県須坂市）

◇準硬式野球部
8月5～12日（新潟県妙高市）

◇水泳部
【競泳】8月9～18日（静岡県・伊東商業高校）
【水球】8月10～14日（山形県・山形工業高校）

◇スピードスケート部
8月22～26日（群馬県・前橋商業高校）
8月29日～9月2日（富山県総合体育センター）

◇スキー部
8月4～9日（青森県・野辺地高校）
9月15～18日（長野県上田市菅平）

◇相撲部
7月31日～8月5日（北海道斜里郡）
8月5～16日（北海道帯広市）
8月26日～9月16日（同右）
7月25～29日（千葉県・専大松戸高校）

◇漕艇部
7月22日～8月7日（神奈川県相模湖）
8月14～27日（石川県小松市）

◇卓球部
【女子】8月24～28日（静岡県浜松市）

◇テニス部
【男子】8月7～10日（埼玉県秩父市）

◇バスケットボール部
【男子】8月9～13日（愛知県名古屋市）
【女子】8月20～25日（愛知県名古屋市）

◇バドミントン部
8月8～12日（栃木県宇都宮市、秋田県・北都銀行）
8月24～26日（宮城県・七十七銀行）

◇バレーボール部
8月10～19日（大阪府、愛知県）

◇フェンシング部
【男女】8月22～31日（山梨県山中湖）

◇ボクシング部
9月10日～13日（埼玉県・花咲徳栄高校）

◇野球部
8月10～15日（大阪府、愛知県）

◇ラグビー部
8月5～14日（北海道定山渓）
8月17～26日（長野県上田市菅平）
9月9～14日（山梨県山中湖）

◇陸上競技部
8月7～17日（北海道野付郡）
8月17～29日（北海道標津郡）
9月4～15日（長野県上田市菅平）

◇レスリング部
8月5～18日（東京・味の素ナショナルトレーニングセンター）

◇ローラースケート部
8月7～13日（長野県千曲川）